

熊 事 研 会 報

第 9 5 号

平成21年5月31日

発行人 熊本県学校事務研究協議会
会長 中嶋 康普

編集代表 研究部長 平木 雅万
〒 869-4402 八代市泉町栗木 5866
Tel 0965(67)2029 Fax0965(67)2027

<今回の主な内容>

- ・会長挨拶
- ・新・旧研究部長挨拶
- ・第1回理事会だより
- ・第1回研究部だより
- ・新役員紹介
- ・熊事研大会について



「2年目のご挨拶第35回熊本県学校事務研究大会に多数のご参加を！！」
熊本県学校事務研究協議会 会長 中嶋 康普（熊本市立城北小学校）

新緑のさわやかな季節となりましたが、皆様におかれましてはご健勝にてご活躍のことと存じます。年度末・始めの忙しさも一段落し、一息ついて、仕事も軌道に乗ってこられた頃ではないでしょうか。

さて、私は5月12日の第1回理事会において、昨年度に引き続き今年度も熊事研の会長に選出されました。一年前に会長をお引き受けしたとき、2年は続けなければちゃんとした仕事はできないだろうと思っていたことと、今年度は研究大会を6月に開催するため、すべての業務が例年より大幅に早く進んでいることもあり、あと1年は務めさせていただくつもりでいました。事務局長は、引き続き大井聡恵さんにお願ひし、研究部長は平木雅万さんに引き受けていただきました。事務局・研究部の皆さんと力を合わせ、各地区理事や会員の皆様の力を借りて、仕上げの年にしたいと思っています。

今年度の研究大会は、すでにご案内しておりますように6月26日に1日間の日程で植木町の生涯学習センターを会場に開催します。全事研福岡大会の絡みがあるとはいえ、これまでずっと2日間の日程でやってきたものを、初めて1日開催としたわけです。全体研究会では、静岡大学准教授 藤原文雄氏に共同実施について講演をしていただき、それを受けて、藤原氏、熊事研、佐賀県、校長会からと、4人のシンポジストによるシンポジウムを計画しています。分科会がない分を補ってあまりある内容で、参加の皆さんに満足してもらえる研究大会となるよう意気込んでいます。1日開催は、熊事研35年の歴史の中で初めてのこととなりますが、熊事研最大の財産である研究大会を後退させることなく、次代へ引き継いでいくためにも何としても成功させなければなりません。ぜひ多数の参加で盛り上げていただきたいと思います。お待ちしております。

今年度は、共同実施が本格実施されて2年目になりますが、各実施単位では、加配の有無やそれぞれの事情によって対応や取り組みに差があり、まだまだ模索の段階であったり、その方向性を見出すまでには至っていないというのが現状ではないかと思ひます。研究大会での講演やシンポジウムでの意見や論議も参考に、また、各実施組織での成果等を交流しながら、あるべき共同実施の姿を探っていかなければならないと思ひます。

平成16年に要望書を提出して長年取り組んできた標準職務表の県教委通知については、学校人事課より「平成21年度中に通知を出す」との回答を得、実現に向けて大きく前進しました。今後は、通知の内容が熊事研の意向を反映したものとなるよう、全力で取り組んでいきます。

熊事研のこれまでの研究や活動の積み重ねは、他にも誇れる貴重な財産です。各地区研と連携し一体となって活動を継続・発展させ、私たち事務職員の集団的力量的の向上をはかっていきたいと思ひています。会員の皆さま並びに関係機関の皆さまのご支援とご協力を心からお願ひ申し上げます。



「よろしくお願ひします」

新研究部長 平木 雅万（八代市立泉第二小学校）

先日、第1回の理事会で、研究部長に選任されました。過去3年間、研究部担当の副会長として、研究部の活動に関わってきましたが、研究部の中で自分の言いたいことを言ってきただけで、本来の研究部の活動を理解しているとは言えません。前藤本研究部長のご指導を仰ぎながら、自分にできる研究をしていきたいと考えています。会員の皆様にとって満足いく研究活動ができるか不安ではありますが、精一杯頑張りたいと思います。

これまで、熊事研の活動には、様々な形で関わってはきましたが、研究部長という役目は、初めてです。学校の中で、自分なりの考えで実践をすることには慣れていますが、理論的にまとめることが不得手な自分につとまるか不安で一杯です。

いろいろな意味で学校事務が転換点を迎えている現在、熊事研研究部に科せられた役割は重大なものがあると身の引き締まる思いです。今年度は、変則的な大会開催で、研究部としての発表の場はありませんが、県大会での藤原先生のご講演や、その後のシンポジウムでの論議を受けて、共同実施を含めた学校事務の今後のあり方について、第二期の研究を踏まえて論議していきたいと考えています。

また、研究部の所管ではありませんが、8月に開催される第41回全事研福岡大会では、熊事研もひとつの分科会を担当します。すでにレポートの提出を終え、発表に向け、SGSFチームくまもとのスタッフは最終的な発表内容の確認作業に入っています。発表の内容は、学校財務の視点から、学校組織や学校運営に関わる学校事務の機能等についてをまとめたものです。会員の皆様にとっても自分自身の学校事務職員としての仕事のあり方をあらためて考える機会となると思われまますので、ぜひ論議に参加いただきたいと思います。研究部としても、今回の研究内容を今後の研究の基礎として引き継いでいきたいと考えています。

研究部活動を引っ張っていく力も自信ありませんが、会員の皆様と11名の研究部員にの支えられながら微力を尽くしていきたいと思ひますのでよろしくお願ひいたします。

「お世話になりました」

前研究部長 藤本 久美子（南阿蘇村立両併小学校）

早いもので研究部長としての3年間が終わりました。熊事研の研究を推進しなければならないという大きなプレッシャーと、学び、考察し、伝えるという研究活動の楽しさが交錯する3年間でした。

この間、教職員人事評価制度や共同実施が導入され、学校事務を取り巻く環境が大きく変わり、研究部としても12名のチームでそれらの課題に対応してきたところです。考え続けてきたことは、会員の皆様のニーズを掴むこと、現状をしっかりと認識し確実な一歩をわかりやすく示すこと、そして若い世代を育てることでした。浅学非才な私が、研究部長の役を務めることができましたのは、会員の皆様や役員の皆様方のご理解、ご協力、ご支援の賜です。心よりお礼申し上げます。

阿蘇地区理事として役員を務めて以来通算で6年間、熊事研の運営に関わらせていただきました。多くの方々と出会い、たくさんのことを学び、私にとって終生忘れられない貴重な財産となりました。これからは、一会員として、学校事務の充実発展を願ひ微力を捧げていく所存です。ありがとうございました。

理事会だより

平成21年5月12日(火)

於：水前寺共済会館

今年度、最初の理事会が5月12日(火)に開催され、平成21年度会長をはじめ新役員が選出されました。

- 1 平成20年度 事業報告並びに決算報告について
 - ・昨年度の第4回理事会でも報告してありましたが、報告のとおり理事会として承認しました。
- 2 平成21年度役員選出
 - ・会長選考委員長から報告があり、新役員が理事会により選出されました。
- 3 平成21年度 事業計画並びに予算案について
 - ・今年度の基本的な事業計画並びに予算案について検討が行われ、理事会(案)として決定しました。正式には総会で皆様に承認していただきます。

- 4 機関運営計画
 - ・理事会、事務局、研究部の運営及び活動計画について確認しました。

- 5 第35回大会について
 - ・大会協力員・役員配置計画、大会当日のスケジュール等について確認しました。

※日程

開催期日 6月26日(金) 10:00～

会場 植木町生涯学習センター

※全体会

第1部として静岡大学准教授 藤原文雄氏による講演、第2部としてシンポジウムを計画しています。

シンポジウムは、コーディネーターを研究部長平木雅万。シンポジストとして、藤原文雄氏の他、八代第一中学校長太田篤洋氏、佐賀県鳥栖市立田代中学校事務長 田中弘信氏、植木町立五霊中学校事務主幹 宮本和明氏の4名をお迎えする予定です。

- 6 その他の協議事項
 - ・総会時に行う功労者表彰について、表彰該当者の調査を行うことになりました。
 - ・今後の事務局員の選出及び、平成23年度以降の県大会の持ち方について、今後理事会で検討していくことになりました。

詳しい議事録は、熊事研 HP に掲載されます。



<http://www.higo.ed.jp/ws/jimukenws.index.htm>

研究部だより

研究部では、今年度の総会議案書、基本方針8「第3期研究計画を策定する」の中で、『第2期の研究で示された「学校事務のあるべき姿もモデル案」をもとに、学校組織の現状とそこでの学校事務組織の問題点及び組織の中での学校事務職員の役割について検証し、「モデル案」で提示したあるべき姿の具現化のための課題についての研究を進めます。今年度は、その研究の基礎研究期間と位置づけ、全事研の「学校事務のグランドデザイン」や全国の情勢について情報の収集と研究を進めます。』としています。

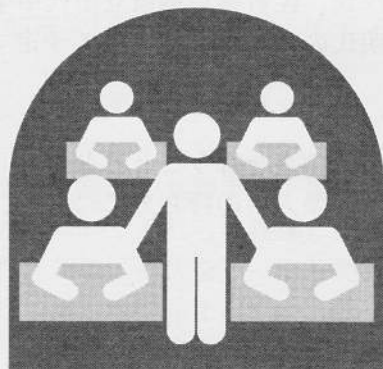
私個人として、現状では、会員の皆様に、出来る限り分かりやすい情報を提供するのが、研究部の役割だと考えています。全事研のグランドデザイン等に関する情報を提供することで、来年度以降の各地区で、研究及び会員の皆様の個々の学校での実践に資することが出来ればと思います。大部分の学校では、単数配置である学校事務職員の置かれている状況では、自分自身のスキルアップに必要な情報が入手困難な状況を研究部で、出来るかぎり補完していきたいと考えています。



研究部長としてのご挨拶でも述べたとおり、これまでの熊事研の研究や、全事研大会での発表内容を引き継いで、研究を進めていくことは研究部の責務です。

しかし、実際に現場で、実践していくのは会員の皆様です。

その実践の中から見えてきた課題を、地区研や研究大会の場で交換しあいながら、今後の学校事務のあるべき姿を探求していきたいと考えます。課題は山積していますが、まずは、学校現場で一人ひとりの会員が、教育目標や学校運営組織を意識した実践を積んでいくことが重要だと考えます。

「今、自分の学校で、事務部がそして自分自身が何をすれば、組織としての学校がうまく運営できるのか。」という視点で、自分に出来ることをひとつひとつ実践していくことで、これからの学校事務の姿が見えてくると思います。皆さんの実践と研究部への御意見をよろしくお願いします。




 平成21年度役員紹介
 

☆理事

地区	氏名	学校名	地区	氏名	学校名
会長	中嶋 康普	城北小学校	上益城	松本 照美	清和中学校
副会長 (荒玉)	池上 雅一	三ツ川小学校	宇城	荒井 ゆみ子	励徳小学校
副会長 (阿蘇)	永野 亜紀子	長陽中学校	八代	林 峰雄	松高小学校
鹿本	草野 富士子	広見小学校	人吉球磨	上田 治男	相良南小学校
菊池	松田 道雄	西合志第一 小学校	水俣芦北	小島 眞紀	袋中学校
熊本	松本 和朗	花陵中学校	天草	森 好史	御領小学校

☆事務局

	地区	氏名	学校名	
事務局長		大井 聡恵	千丁小学校	
事務局員	県北	鹿本	緒方 洋子	鹿南中学校
		鹿本	宮崎 文子	鶴城中学校
	県央	上益城	八並 千恵	潤徳小学校
		宇城	中村 勝美	豊野小学校
	県南	人吉球磨	片山 知美	多良木小学校
		人吉球磨	園川 祥子	山田小学校
	情報調査	人吉球磨	北里 良徳	中原小学校
		熊本	嶋原 亜希	河内中学校

旧役員さんです
 ありがとうございます

副会長 藤川 英一 (熊本)
 平木 雅万 (八代)

理事 三輪 留美 (鹿本)
 土井 一宏 (阿蘇)
 古川 泉 (宇城)
 信國 幸嗣 (人球)
 荒木アケミ (天草)

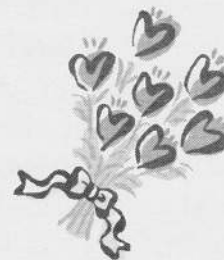
事務局員 上田 千浩 (熊本)
 濱田 千里 (熊本)

研究部長 藤本久美子 (阿蘇)

研究部員 守永いずみ (熊本)
 早坂 博俊 (天草)

監事 嶋田 秀明 (阿蘇)
 池田瑠里子 (天草)

()内は旧地区です



☆研究部

	地区	氏名	学校名	
研究部長		平木 雅万	泉第二小学校	
研究部員		荒尾玉名	藤井 優子	横島小学校
		鹿本	田中 晴美	植木北中学校
		菊池	荒木 光夫	龍門小学校
		阿蘇	中島 大輔	中松小学校
		熊本	松田 裕之	京陵中学校
		上益城	本田 繭巳	木倉小学校
		宇城	堀内 美幸	網田中学校
		八代	垣内 愛和	鏡小学校
		人吉球磨	別府 美紀	須恵中学校
		水俣芦北	柴田 夏子	津奈木中学校
		天草	小手 彩香	下浦第一小学校

☆監事

地区	氏名	学校名
熊本	今村 徹也	帯山中学校
水俣芦北	大窪 広行	佐敷小学校

ありがとうございます

第35回熊事研大会について



大会テーマ 『変革の時代に対応する学校事務の創造
－教育現場に根ざした新たな学校事務の実践－』

期 日 平成21年6月26日(金)
場 所 植木町生涯学習センター 文化ホール
日 程

9時20分受付開始 10時開会
(午前) 開会・大会行事 総会行事

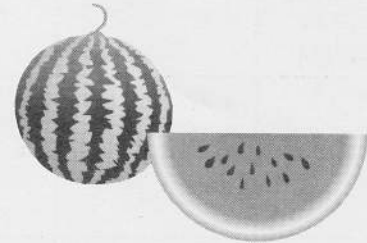
(午後) 全体研修

○講演

演 題 『共同実施について』(仮)

講 師 藤原文雄氏(静岡大学教育学部准教授)

プロフィール 1967生まれ 東京大学教育学部教育行政学科卒業
東京大学大学院教育学研究科博士課程単位取得退学
1999年11月静岡大学教育学部附属教育実務総合センター講師
2001年4月から同助教授
2007年度4月から准教授
専攻 学校経営学



○シンポジウム

テーマ『共同実施とこれからの学校事務の在り方』

シンポジスト

静岡大学准教授 藤原文雄氏 八代市立第一中学校長 太田篤洋氏
佐賀県鳥栖市立田代中学校 田中広信氏 植木町立五霊中学校 宮本和明氏
コーディネーター
研究部長 平木雅万

※植木町役場付近は、車が混み合いますので、時間にゆとりを持ってお越し下さい。

※お車でお越しの方は誘導に従って所定の駐車場へ止めて下さい。

・・・編集後記・・・

「来年度、役員を引き受けてもいいですよ」と前年度末に軽い気持ちで伝えていました(地区研の簡単な役目だろう)。ところが4月の人事異動で状況が一変。日頃からお世話になっている先生からの頼みなので断ることはできず、少しでも役に立てるよう引き受けることになりました。「今年度は周りの仕事を見ながら勉強」と思っていたのですが、たくさんの役目があり今の自分には覚えるだけでも一苦労。

しかし、今までの役員の方の苦労を知り、今度は自分が少しでも恩返しができると思いました。今後も理事会、県内各地区の事務研情報を会員の皆さんに提供できるよう微力を尽くしたいです。

ご意見、要望等ありましたら、連絡、お知らせ下さい。



jimukenws@edu-c.pref.kumamoto.jp

